



【「道徳」と体育】

10月22日に、茨城県ラグビーフットボール協会理事長の柴田淳先生、茨城県教育庁参事で茨城県ラグビーフットボール協会常任理事の小沼公道先生をお招きし「道徳」と「体育」の授業を行いました。

始めに、「道徳」の授業では、校長先生が「世界一きれいなロッカールーム」という読み物資料をもとに特別授業を行い、「役割」「感謝」「結束」の重要性について考えました。その後、柴田先生からは「試合中は徹底的に勝つことにこだわり、ノーサイドとともにお互いを讃え合うこと」「自分で判断して動ける人になること」「目の前のひとつひとつを大切にすること」などの話がありました。

続く「体育」の授業では、小沼先生にラグビーを指導していただきました。生徒たちは、後ろへのパスやラグビーボールの転がりなどに戸惑いながらプレーしていましたが、最後には楽しそうにプレーしていました。参加した生徒からは、「初めてラグビーをやって相手を尊重する大切さを知った」「ラグビーは、怖さがなく、いつでも楽しく出来るスポーツだと思った」といった感想が聞かれました。

かつて、本校にはラグビー部があり、県大会・東関東大会で優勝したことがあります（昭和39年）。また、来年には、ラグビーワールドカップが日本で開催が予定されており、「道徳」を通した生徒一人一人の人格形成だけでなく、ワールドカップに向けた機運醸成のよい機会となりました。

